



2011年7月17日



【本件に関するお問い合わせ先】
社団法人日本アメリカンフットボール協会
〒140-0001 東京都品川区北品川1-16-1
舟正ビル2F
TEL.03-3450-9360 FAX.03-3450-9361
E-mail: press@americanfootball.jp
Web: http://americanfootball.jp

報道各位

第4回世界選手権 オーストリア大会

アメリカ代表カナダを圧倒、世界選手権連覇を果たす

大会オールスターチームにはWR前田(鹿島)、DB加藤(鹿島)、
DL脇坂(パナソニック電工)、K/P青木(鹿島)が選出される

第4回世界選手権は7月16日(土)、ウィーンのエルнст・ハッペル・スタジアムに会場を移し優勝決定戦を行った。共に全勝(3勝)、グループリーグを1位で終えた前回優勝アメリカと初出場カナダ、金メダルをかけた戦いは、一方的な展開となり、アメリカが50対7で勝利した。アメリカは前回に続いて2連覇を達成、カナダは初出場で銀メダルを手にした。この試合の詳細は2ページ目をご覧ください。

この試合に先立って行われた5位決定戦、共にグループリーグで1勝2敗の3位で迎えた、ドイツ対フランスの対決は、緊迫した展開の末、21-17でドイツが勝利し5位の座を確保した。

この結果、第4回世界選手権 オーストリア大会の順位が下記のとおり決定した。

試合終了後、表彰式が行われ、9日間にわたって開催された「第4回世界選手権 オーストリア大会」の幕は下ろされた。

■試合結果

【優勝決定戦】

7月16日(土) @ウィーン 19:00~

Team	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
アメリカ	7	30	13	0	50
カナダ	0	7	0	0	7

【5位決定戦】

7月16日(土) @ウィーン 15:00~

Team	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
ドイツ	0	7	7	7	21
フランス	0	7	7	3	17

■第4回アメリカンフットボール世界選手権 オーストリア大会 最終順位

- 優勝 アメリカ
準優勝 カナダ
3位 日本
4位 メキシコ
5位 ドイツ
6位 フランス
7位 オーストリア

■大会最優秀選手

大会最優秀選手には

アメリカ代表 RB ネート・ミックが選出されました。

※談話は 3 ページを参照ください

■オールスターチームが発表されました

表彰式後、今大会のオールスターチームが発表されました。

日本チームからは次の 4 名が選出されました

ファーストチーム WR 前田直樹(鹿島)、DB 加藤公基(鹿島)

セカンドチーム DL 脇坂(パナソニック電工)、K/P 青木大介(鹿島)

※オールスターメンバー表は 4 ページ目をご覧ください。

アメリカ代表カナダを圧倒 大会2連覇を果たす

第 1Q、アメリカは最初の攻撃シリーズを RB ミックの 2 ヤード TD ランで仕上げ 7 点をリードする。続くカナダ最初の攻撃、アメリカ DB を振り切った WR がロングパスを落球するなど流れを掴めない。対するアメリカの攻撃もダウンは更新するものの反則など細かなミスでなかなか得点に結びつけることができない。

第 2Q に入るとカナダが反撃、ボールをアメリカゴール前 7 ヤードまで運ぶ。しかし QB ファルデスここで痛恨のファンブルロスト、同点のチャンスを逸してしまう。対してアメリカは直後の攻撃で 80 ヤードをドライブ、QB バセナーの TD で 14-0 とリードを広げる。その後のカナダの攻撃でセイフティー奪うと立て続けに 2 本の TD を挙げ 30-0、とカナダを突き放した。カナダが前半残り 6 秒で TD を返すが、アメリカの攻撃はその 6 秒でもう 1 本の TD を入れ返すという離れ業を見せた。

第 3Q に入るとアメリカの守備陣が存在感を見せる、DB レイク立て続けに 2 回、カナダのパスをインターベプト。いずれも攻撃が TD に結びつけ得点を 50-7 とし、試合を決定づけた。第 4Q に入りカナダは必至の反撃をみせるが得点を挙げる事は出来ず試合はそのまま終了した。

優勝決定戦後の談話

【アメリカ ヘッドコーチ メル・チャーチマ】

私たちは今回の選手とその準備を本当に誇りに思う。私たちは素晴らしいゲームプランを用意していました。メキシコ戦ではベストな成果を発揮できなかったがオフェンスの準備はとても強固なもので、この試合の準備は整っていました。最初のドライブ、これが得点に結びついた事が大きかった。

カナダは素晴らしいフットボールチームだ。選手やコーチたちは今回の得点差よりもずっと素晴らしいと私は言いたい。チームはまずフランス、そしてオーストラリアと戦った、そしてカナダはそれまでのゲームプランをそっくり変えて日本戦に臨み、徹底してそれを実行した。これはカナダ戦に対する我々の準備をとても難しくしました。その日にそのような事が用意でき、実行できる選手、コーチ陣、これは正に称賛に値します。それが機能していたからこそ、あのとても素晴らしい日本チームを破る事が出来たのです。

まだ 3 週間しか行動を共にしていませんが、我々には遠慮はありません。

グループリーグでは 1 日おきにプレーをしていましたがこの試合には 4 日間の準備期間がありました、アメリカ国内で通常経験している試合間隔は 1 週間、この状況に近い 4 日間の準備が出来た。この数日のエキストラデイが私たちを助けたと思います。

【カナダ ヘッドコーチ ラリー・ヘイラー】

アメリカを讃えたい。アメリカチームの攻撃は最初から最後まで良くプレーされていた。とても落ち着いており、我々を混乱させ続けた。

守備では我々は自分たちのプレーをするために戦いました。

アメリカにはとてもないディフェンスラインがいて我々は翻弄された。彼らは非常に良いプレーを実行していて、素晴らしかったと思う。

今夜、彼らは傑出しているチームだった、我々は我々の目指すプレーが出来なかつた。今回の我々にとっての経験の全ては目標を持てた事です

初めてカナダチームとしてこの大会に参加したが、とてもエキサイティングでした。グラーツそしてウィーンで過ごした時間は驚くべきものでした。

【IFAF 理事長 トニー・バイキング】

私はこの大会に関して、最高に幸せを感じています。私たちはこのオーストリアに多くの観衆が詰めかけ、アメリカンフットボールファンが熱狂してくれる事を望んでいました。そして私たちはそれを体現しました、これはすごい事です。アメリカンフットボールを広げるためにこの大会があり、イタリア、ドイツ、日本と回を重ね、そして今回も大きな一歩です。わたしたちは大会を改善し続けて、より良いものにしていく必要があります。

今回の大会はとても素晴らしかったです、想像以上の出来でした。私は何度か過去の大会を見る機会がありましたが今回はより良かったと思います。

ヨーロッパのチームが追い付いてくるのを見るのは皆さんが出ると思います。前回の日本大会では、アメリカと日本、それ以外のチームには大きな差がありました。しかし今大会ではいくつかの接戦が見られました。ヨーロッパのアメリカンフットボールは成長しています。トップチームの差はより小さくなっています、それでもアメリカはナンバーワンである事を誇示してくれました。

【アメリカ MVP RB ヘンリー・ハリス】

私はこの試合が激しい戦いになる事は判っていました。カナダのプレーは強くて、激しいものでした。

心構えが出来ていました、選手たちはとてもよかったです。私たちはいくつかの反則をして苦しみましたがいつも自分のすべきこと出し逆境に向かいました。我々のコーチ、スタッフは素晴らしかったです。 私たちは自分達がしなければならない事が出来ました。

【カナダ MVP LB サミー・オプロ】

アメリカには脱帽です。すごいプレーでしたし我々はやろうと思った事が出来なかつた。このトーナメント期間、初めて参加したカナダチームは驚くことの連続でした。我々の目標は決勝戦に進出して良い戦いをする事でした、しかし今日それが出来ませんでした。このような大きな試合ではもっと早い段階でビッグプレーを準備しなければ。

グラーツでの過ごした時間はとても貴重な経験になりました。オーストリアと対戦した時の観衆にも驚きました、貴重な体験の一つです。

【大会MVP アメリカ RB ネート・ミック】

これは素晴らしい名誉であり、アメリカ国民としても大変嬉しく思う。これは私のフットボール人生で達成された中でも最高の栄誉だと思います。

光榮です、こんな賞をもらえるとは想像もしていませんでした。皆の心が一つになれたことがよかったです、私はただチームに参加して、自分の仕事をただけです。でもこれは大変な栄誉です、神様からの恵みです。

First team all-tournament selections:

Pos	Country	No.	Name
OL	MEX	70	Malos Santiago
OL	USA	77	Dane Wardenburg
OL	USA	75	Nick Rossi
OL	CAN	61	Matt Norman
OL	CAN	66	Zachary Pollari
RB	CAN	33	Matt Walter
RB	USA	28	Henry Harris
RB/WR	USA	1	Nate Kmic
WR	CAN	84	Shamawd Chambers
WR	JPN	11	Naoki Maeda
QB	USA	7	Cody Hawkins
K	MEX	19	Jose Carlos Maltos
DL	USA	91	Charles Bay
DL	USA	99	Daniel Calvin
DL	CAN	90	Adriano Belli
LB	USA	44	Zach Watkins
LB	CAN	54	Anthony Maggiacomo
LB	MEX	56	Manuel Padilla
LB	USA	23	Osayi Osunde
DB	CAN	20	Sammy Okpro
DB	USA	12	DeWayne Lewis
DB	USA	27	Jeff Franklin
DB	JPN	21	Koki Kato

Second team all-tournament selections

Pos	Country	No.	Name
OL	AUT	79	Valentin Gruber
OL	USA	65	Josh Koeppel
OL	GER	50	Nick Wieland
OL	USA	67	Alex Alvarez
OL	GER	64	Sascha Sauer
RB	FRA	22	Dimitri Kiernan
RB	MEX	23	Jonathan Barrera
RB/WR	GER	84	Niklas Römer
WR	AUT	1	Jakob Dieplinger
WR	FRA	18	Jeremy Rabot
QB	CAN	3	Michael Faulds
K	JPN	15	Daisuke Aoki
DL	FRA	45	Giovanni Nanguy
DL	JPN	43	Yasuo Wakisaka
DL	USA	98	Tyler Roach
LB	USA	43	Terrence Jackson
LB	MEX	5	Jorge Valdez
LB	GER	13	Jasson Scott
LB	AUT	58	Florian Hueter
DB	USA	22	Stefan Virgil
DB	CAN	21	Troy Adams
DB	GER	7	Leonard Greene
DB	FRA	3	Arnaud Vidaller

■ 第4回アメリカンフットボール世界選手権オーストリア大会 2011 大会概要

名称 第4回アメリカンフットボール世界選手権オーストリア大会 2011
The Fourth World Championship of American Football, Austria 2011
(略号:SWC2011=Senior World Championship 2011)

主催 IFAF [International Federation of American Football (国際アメリカンフットボール連盟)]
American Football Bund Oesterreich (オーストリア・アメリカンフットボール連盟)

期間 2011年7月8日(金)~7月16日(土)

出場国 8カ国が下記2グループに分かれてのリーグ戦を経て、同順位同士による順位決定戦を戦います。

【グループA】	【グループB】
アメリカ合衆国(前回優勝)	オーストリア(欧州選手権3位・開催国)
ドイツ(欧州選手権優勝)	フランス(欧州選手権準優勝)
オーストラリア(オセアニア代表)	日本(アジア代表)
メキシコ(アメリカ大陸代表)	カナダ(アメリカ大陸代表)

試合スケジュール

7月 8日(金)	① アメリカ×オーストラリア	② ドイツ×メキシコ	@インスブルック
7月 9日(土)	① オーストリア×日本	② フランス×カナダ	@グラーツ
7月 10日(日)	① メキシコ×オーストラリア	② ドイツ×アメリカ	@インスブルック
7月 11日(月)	① 日本×フランス	② カナダ×オーストリア	@グラーツ
7月 12日(火)	① オーストラリア×ドイツ	② アメリカ×メキシコ	@インスブルック
7月 13日(水)	① カナダ×日本	② オーストリア×フランス	@グラーツ
7月 15日(金)	① 7位決定戦	② 3位決定戦	@ウィーン
7月 16日(土)	① 5位決定戦	② 優勝決定戦	@ウィーン

* 試合開始時刻 第1試合:15時開始 第2試合:19時開始(現地時間)

* 試合会場
インスブルック Tivoli Stadion(収容人数 16,000人)
グラーツ UPC Arena(収容人数 15,400人)
ウィーン Ernst Happel Stadion(収容人数 50,800人)

WC2011公式サイト <http://www.americanfootball2011.com/en/>

【これまでの「アメリカンフットボール世界選手権」について】

第1回大会は、1999年イタリア・パレルモにおいて開催。その後、第2回大会が2003年ドイツ・フランクフルト、第3回大会が2007年日本・川崎市にて開催された。日本は第1回、第2回にて連続優勝し、第3回では準優勝。なお、第3回よりこの競技の母国であるアメリカが出場し、優勝を飾った。

詳細は大会公式ホームページ(日本語) [過去の大会]をご参照ください。

【IFAFについて】



国際アメリカンフットボール連盟

IFAF(International Federation of American Football=Tommy Wiking 理事長)は、1998年に創立、翌99年イタリアのシシリー島パレルモ市に6カ国が集って第1回世界選手権大会が開催され、過去3大会を通じて世界各地で加盟国の輪を広げてきた。

設立当初25カ国だったIFAFは、現在PAFAF(環太平洋連盟16カ国)、EFAF(欧州連盟32)、AFAF(アジア連盟5)、OFAF(オセアニア連盟3)の4地区が加盟し、今春これに加えてナイジェリアを起点

とした待望のアフリカ大陸連盟が創立、59 力国の参加する組織としてその規模を拡大している。
IFAF 公式サイト:<http://www.ifaf.info/>